

平成19年度国立大学法人東京海洋大学第5回教育研究評議会議事要録

日 時 平成19年9月4日（火） 15時～17時40分

場 所 本部管理棟第一会議室（品川地区）

出席者 高井学長、岡本理事、刑部理事、今津理事、松山海洋科学部長、藤田海洋工学部長、竹内海洋科学技術研究科長、松下附属図書館長、上村評議員、渡邊評議員、庄司評議員、鶴田評議員、小池評議員

陪席：松岡事務局長

事務担当者：中川総務部長、花田学務部長ほか事務関係者

議 事

審議事項

- 1 国立大学法人東京海洋大学公益通報者保護規則の制定について
事務局から、資料1「国立大学法人東京海洋大学公益通報者保護規則の制定について」説明があり、審議の結果、了承した。
- 2 国立大学法人東京海洋大学における研究者の行動規範について
刑部理事から、資料2「国立大学法人東京海洋大学における研究者の行動規範について」説明があり、審議の結果、了承した。なお、この規範に関連して、規則の整備を行っている旨報告があった。

報告事項

- 1 戦略会議の検討結果報告について
学長から、戦略会議の任務と役割について説明があり、岡本理事から、資料3「入学後教育」により報告の後、意見交換が行われた。委員からの意見は次のとおりである。
 - ・本学卒業生が必要とする学力をつけるための基礎教育と専門教育について、新規に何をするのか明確に書かれていないのではないか。また、現在行っている授業内容が、学部や学科の目的との関係から今のままでいいのかということが抜けているのではないか。
 - ・経営的資源の問題点から、学科から2名選出というのは如何なものか。
 - ・戦略会議としては、現状が良いという視点に立ち、先を見据えたようなものを出しても良いのではないか。
 - ・戦略を決める場合には、しっかりとした資料、アンケート調査等を根拠とすると説得力がある。
 - ・初期教育について、全学共通科目が効果をあげているか検証していけば具体的な戦略になっていくのではないか。
 - ・産業界におけるリーダーに求められるのは、学力だけではないと思う。
 - ・主体的な学びについて具体的にどのようにやっていくのか。
 - ・全学教育委員会でやるのではなく、FD委員会でやるべきではないか。続いて、今津理事から、資料3「入学前」により報告の後、意見交換が行われた。委

員からの意見は次のとおりである。

- ・SWOT分析に欠けている部分があるのではないか。
- ・ベンチマークの相手が見えていないのではないか。

なお、学長から、資料3「入学前」について、学科長等に配布していただきたい旨要望があった。また、「入学後教育」の答申に関しては、どのように展開していくかを検討し先へつなげていく必要があるとの判断が示された。

2 平成20年度追加概算要求について

事務局から、資料4「平成20年度追加概算要求について（追加要求事項含む）」により報告があった。

3 平成20年度追加概算要求（8月末現在の状況）について

事務局から、資料5「平成20年度追加概算要求（8月末現在の状況）について」により報告があった。

4 品川キャンパス土地の一部売り払いに係る面積の変更について

事務局から、資料6「品川キャンパス土地の一部売り払いに係る面積の変更について」により報告があった。なお、面積が変更（減少）となっても港区から国際交流会館、野球場の補償工事を行う旨説明があった。

5 平成19年度入学料未納による除籍について

事務局から、入学料未納者について、8月末現在5名いる旨報告があった。

6 平成19年度前学期授業料未納による除籍について

事務局から、前学期授業料未納者について、8月末現在44名いる旨報告があった。なお、学長から、入学料、前学期授業料未納者について、支援教員からも該当者に言っていただき、何か問題があれば支援教員に相談していただきたい旨発言があった。

7 全学委員会等報告について

(岡本理事)

- ・大学評価委員会について

(松山海洋科学部長)

- ・平成19年度現代GP「水圏環境リテラシー教育推進プログラム」の採択について

(刑部理事)

- ・「海の日」記念行事について
- ・広報委員会について
- ・発明評価委員会について
- ・国際交流委員会について

(今津理事)

- ・明治丸とその周辺整備について

8 その他

松山海洋科学部長から、入学試験成績優秀者への奨学金について、検討している旨報告があった。

学長から、平成18年度業務実績報告書に関する国立大学法人評価委員会のヒアリングを7/26に受けた旨報告があった。

以上